

平成28年度第1回利根町地域自立支援協議会 議事録

日時：平成28年7月20日（水）13時～

場所：利根町役場 5-A 会議室

出席委員：11名

協議内容

1. 障害福祉計画で決定された各施策の進捗状況について

事務局より、平成27年度施行の障害福祉計画のなかで、次の計画策定期間である平成30年度までに実施することとしている5つの施策の進捗状況について報告。

(1) 障害福祉ガイドブックの作成・配布

「利根町障がい福祉のしおり」を平成27年度中に作成し、今年度より福祉課窓口にて随時配布中。様々な福祉制度の周知を図るため、相談支援専門員等の各種関係者にも配布していく。

(2) 障害のある方への接遇マニュアルの配布

差別解消法の啓発も兼ねて今年度中に全職員に配布する。

(3) 障害者のための防災マニュアルの作成（広報での連載）

昨年度の広報とね2月号に第1回を掲載した。第2回の記事内容について、今回の協議会で検討したい。

(4) ヘルプカードの作成・配布

今年度実施に向けて準備を行う。

(5) 就労訓練系サービス利用時の交通費の補助事業の検討

実施に向けて近隣市町村の実施状況等の調査及び企画財政課と協議を行う。

2. 各部会の活動報告

(1) 相談支援部会の活動報告

部会長より、6月27日に行われた平成28年度第1回の相談支援部会の活動内容について報告。計画相談支援の事務内容やサービスの支給量などについて、ざっくばらんに情報交換をできるいい機会とすることができた。

(委員)

今回利根町の相談支援部会で議題となっている議題は、利根町だけではなく、近隣市町村でも現在話題となっている内容。市町村ごとではなく広域的な場で

情報交換や協議を行うことが地域の障害福祉を底上げすることに繋がると思われる。

(2) 防災部会の活動報告

部会員より広報への掲載記事（第2回）の内容についての伺い。
内容を変更すべきとの意見はなかったため、レイアウト等の微調整をした上で、平成28年9月号に掲載できるよう広報担当者に提出する。

(委員)

今回の記事では福祉避難所への経路を平常時から確認しておくことなどが提案されているが、最近テレビ番組で、震災の際に障害のある方が福祉避難所にたどり着いたときには、もうすでに避難所がいっぱいであったという状況を見た。利根町には福祉避難所が1箇所しかなく、同じ状況になることも考えられる。平常時から、対策を検討してほしい。

3. 障害者差別解消法について

(1) 差別解消支援地域協議会について

昨年度第3回協議会（平成28年3月2日開催）において、利根町地域自立支援協議会を差別解消支援地域協議会として利用することで合意を得ているが、どのような役割を担うこととなるか事務局より説明。

<現在考えられる役割>

- ①障害者差別に関して、困難事例があった際に解決のための協議を行う。
- ②それぞれの分野における、障害者差別に関する情報交換・情報共有を行う。
- ③利根町で障害者差別の解消を進めていくにあたり、その方法等を協議する。
など

(2) 利根町職員対応要領及び教育委員会対応要領について

事務局より利根町職員対応要領（案）について概要を説明。委員に合意を得て、対応要領の策定を行う。

<説明内容>

対応要領各項の解説。利根町の要領は全体的には茨城県の要領をベースとしているが、相談体制の整備に関して、事案が発生した際の対応方法をより具体的に記載している。その他、町の実情等に応じて県の要領から変更している部分も説明。

学校等の教育機関については執行機関が異なるため、別途教育委員会対応要領を策定する。

(3) 今後の動きについて

合意を得たため、協議会終了後、策定した対応要領を公表し、全職員に向けて周知を行う。その際には、障害のある方への対応をする上で参考となる啓発資料も併せて配布する。

また、職員への研修として今年度は、人権問題講演会において障害者差別解消に関する内容の講演会を行うことを検討しており、管理職を中心に参加してもらえるよう呼びかける予定。

次回以降の協議会で、差別を解消するための取り組みについて協議していきたいと考えているため、協力をお願いしたい。

4. その他

(委員)

町内の学校における障害者用トイレの設置状況を知りたい。

(委員)

現在、文小学校に1箇所車椅子で利用できるトイレがあるのみ。障害のあるお子さんが入学するなど、実際に必要な状況になったときに設置を検討していく。

(委員)

文間小学校に特別支援学級が設置されることとなった。利根町の障害福祉の推進には大きな一歩となると思われる。